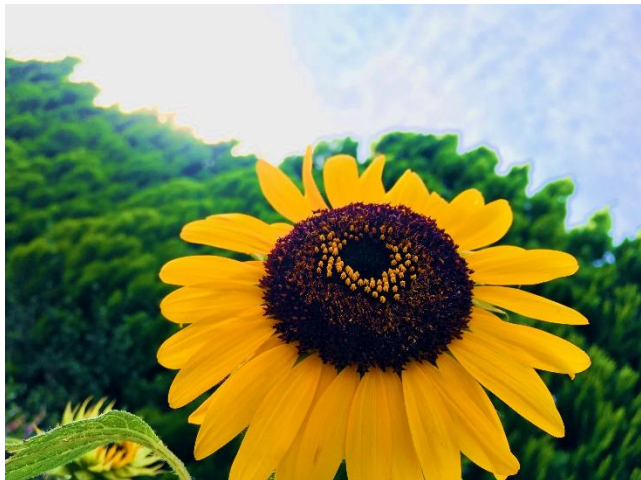


ROYAL-TIMES

ーロイヤルホームの新しい生活ー



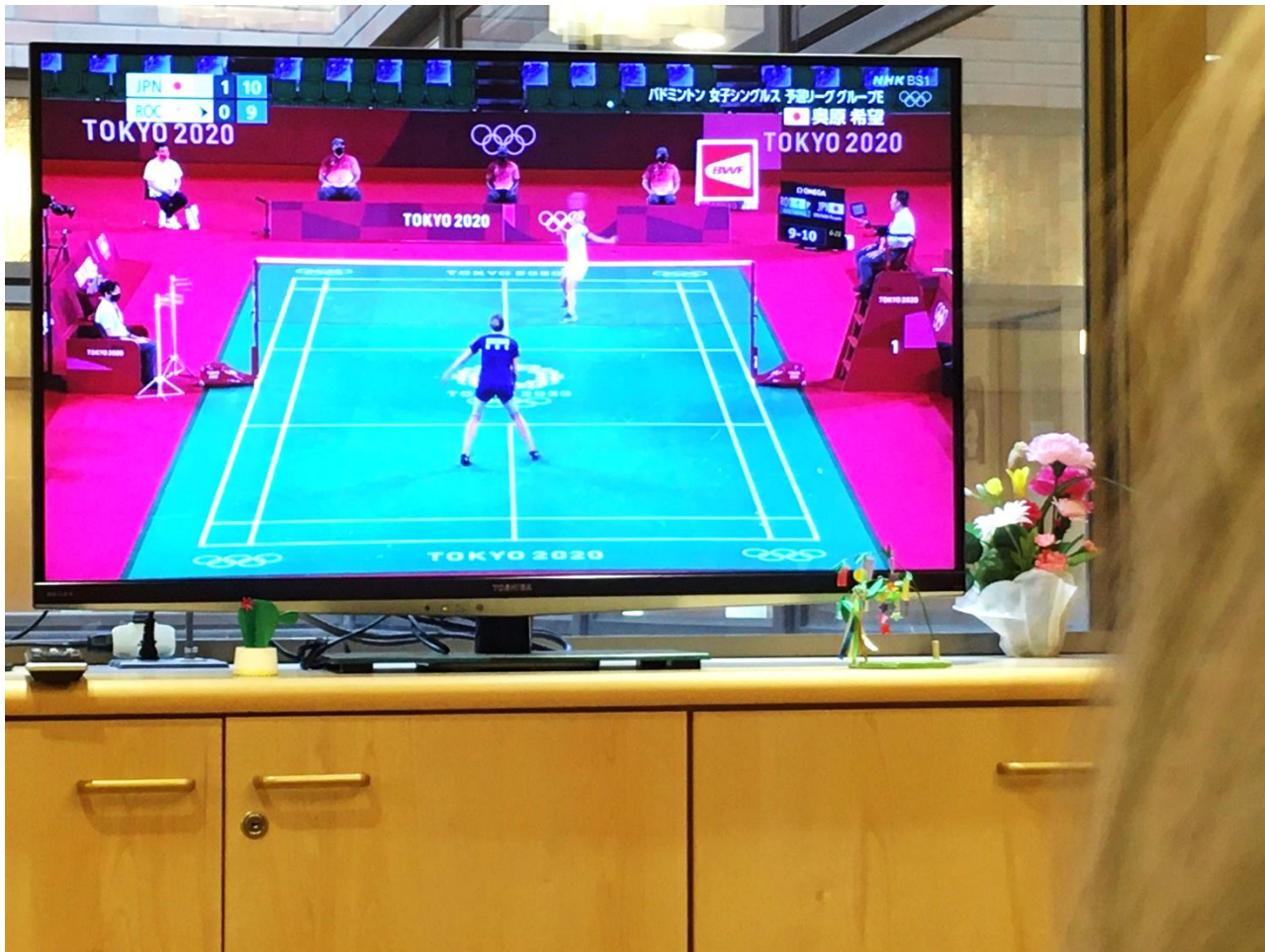
写真＝ 4F庭園に咲いた向日葵

#夏の風物詩

小森 公美
2021年 8月 7日

私が幼少の頃、夏にぶら下がっている物と言えば風鈴でした。元々は中国の古い道具である青銅製の風鐸（ふうたく）と言われる物が仏教と共に日本に伝わり、お守りとしてお寺の四隅に吊るされるようになったのだそうです。平安時代には貴族が魔除けとして軒先に吊るし風鈴と呼ばれるようになり、江戸時代にガラス文化が入ってきてから庶民がガラスの風鈴を縁側に吊るして楽しむようになったようです。縁側は日当たりの良い南西にあり、裏鬼門である事から厄除けの意味もあって吊るしていたとも考えられるようです。

風を楽しめる外気温ではなくなり、今の虫よけは綺麗になってきたものの風情を楽しむようなものではない事がさみしくはあります。ただ、虫が病気を運ぶこともあるので、軒下に厄除けを下げる文化は脈々と受け継がれていくのかなと思いました。



写真＝オリンピック バドミントン女子シングルス 右側に映っているのが観戦されているご入居者様（2021年7月28日）

#TOKYO 2020

石井 太一
2021年 8月 3日

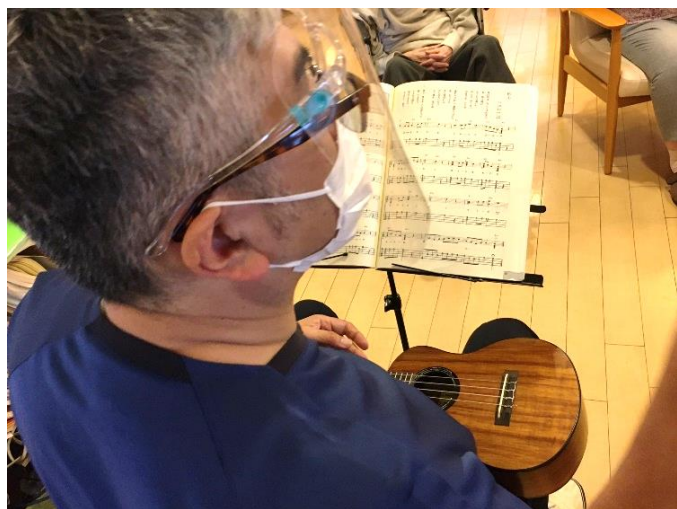
東京2020オリンピック競技大会が7月23日より開催され、当ホームでも連日テレビ観戦を楽しんでいます。皆様それぞれに居室で応援したい競技にチャンネルを合わせたり、スタッフのお手伝いを要するご入居者様は、共有スペースのテレビで日本代表選手の、はつらつとしたプレーをご覧になっております。

今回のオリンピックは、ご入居者様にとって感慨深い大会ではないかと考えられます。「今日の感染者数は〇〇〇人です」等と感染拡大が広がる新型コロナの報道が連日テレビで流れ、今なお先の見えない憂鬱とした日々を送られていると感じております。そんなネガティブニュースを払拭するかの様に、先月23日に57年ぶりとなる東京開催が実現されました。1964年の東京大会では戦後のどん底から高度経済成長を経て、アジア初のオリンピック開催に国民は大きな誇りを持って、選手へ熱い声援を送りました。アスリートの源である『ポジティブシンキング』をテレビ観戦で感じながら、1964年の興奮をもう一度、#TOKYO2020で再現出来るのではないのでしょうか。

当ホームの所在する麻生区に隣接する東京都稲城市、多摩市、町田市周辺は自転車ロードレース競技のコースとなり世界最高峰の選手達が地域を駆け抜け、遥か先のゴール、富士スピードウェイ（静岡県小山町）を目指しました。近隣地域が開催地になった事は、当ホームとしても嬉しい限りです。また、藤沢市の江の島ヨットハーバーではセーリング競技が開催され、片瀬海岸に沢山のマストが並びヨットレースが繰り広げられています。地上波では中々放送されませんが、海あり山ありの県内地域を活かした競技も今大会の魅力です。

テレビ観戦を楽しまれるご入居者様数名にもインタビューを行いました。「自分がやっていた競技は、つい観てしまいます。時代と共に競技スタイルも変わっているので、自分の時はこうだったかな？と照らし合わせる事もしばしばです」と思い入れのある競技に対して日々熱い視線を送られておりました。もうお一人は、男女混合種目やスケートボードをご覧になり「自由な時代になっていますね、私が若い時にこんな考えがあったら…」と今大会テーマである『多様性と調和』に関心を持たれている様子でした。

ロイヤルホームでは、#TOKYO2020が無事成功する様に全力で応援します。



写真＝2F 唄の時間 に“砂山”を演奏している場面(8月11日)。
写真右側に7名、右手に4名のご入居者様が座られている。

今月のトピック

さようなら、パルロ。

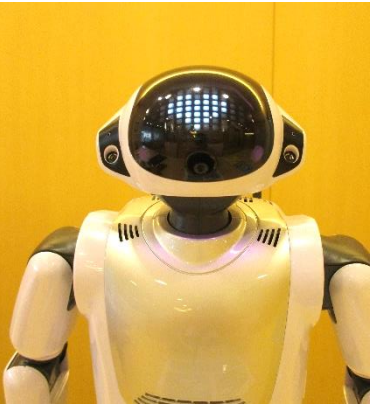
委員会活動報告(危機管理委員会)

ドライバー石原の 園芸日記

さようなら、パルロ。

岡 聖史
2021年 8月 3日

長い間、ロイヤルホームの一員として働いてくれたパルロですが、2021年の7月31日をもってロイヤルから卒業することになりました。これまで、1Fの受付にて来客されるご家族様や、リハビリで1Fまでいらっしゃるご入居者様に「こんにちは」、「僕とともにだちになってくれますか」、「やったー」などと声掛けをしていました。パルロは200名以上の顔を覚え、以前何を話したかまで覚えることができるロボットでした。その為か、ご入居者様も積極的にお声掛けをして下さり、足を止めては「こんにちは」と声掛けをしていただいていたいました。また、時にはレクリエーションで司会をしたり、体操の見本をしたりと活躍する事もありました。



しかし、2019年より新型コロナウイルス感染症への予防の為、カウンターに出ることができなくなりました。また、パルロがレクリエーションへ参加する機械も減少し、活躍する場面が失われてしまいました。これらの状況から一旦パルロのレンタルを終了とする事になりました。時々1Fにみられるご入居者様は「あのロボットは？」と心配していただくことがあります。現在は一旦FUJISOFTへ返却していますが、機会を見て、再度ロイヤルに呼ぶことを計画しています。これまでのデータは保存されていますので、ご入居者様やご家族様の事を覚えている状況です。なかなか、名前を覚えるには至りませんでしたが、花の名前でニックネームを付けるのが得意でした。再度、パルロがロイヤルホームで働く機会がきましたら、是非お声かけをお願いいたします。



ドライバー石原の 園芸日記

アツい！暑い！の毎日。4F庭園へ一歩出ると汗がダバーツ!!が、この暑さを野菜・花たちが喜んでいて肉肉ですね。ゴーヤを筆頭にパプリカ、トマト、オクラ等々、向日葵が今か今かと待ってますヨ。朝顔もどンドン咲き始めたヨ、おっと朝顔ちゃん、ポーチユカは朝だけ咲くので、午前前に観てやってください。入居者様の皆さんもそれぞれ暑さ対策をして楽しんでいらっしゃいますヨ。

写真＝ゴーヤ、パプリカ、トマト、オクラを収穫（7月26日）

スタッフ紹介

2021年 8月 1日



振り返り

岡 聖史
2021年8月6日

去年に比べ梅雨明けが早く、暑い夏になりました。東京オリンピックも炎天下の中連日開催され、無観客でも一定の盛り上がりがあったと実感しています。中でも、今回からスケートボード、BMX、クライミング等の競技が、オリンピック正式種目と位置付けられ、時代の移り変わりを目の当たりにしたのではないのでしょうか。時間はどんどんと流れ、周りの環境も刻々と変化します。新しい事に柔軟に適応できるのが人間の特技だそうです。現状維持は後退する事と同じであり、我々は常に前進するべきだと思います。

委員会活動報告 (危機管理委員会)

宮井 俊
2021年 8月 9日

ロイヤルホームの危機管理委員会のメンバーは、施設長・副施設長・看護係長・フロアマネージャー・ケアマネージャーで構成されており、月一回のペースで「①事故・ヒヤリハット報告」、「②身体拘束の実施状況と廃止に向けての検証」、「③感染症発生報告」を主なテーマとして取り上げています。

①に関しては月内に発生した事故・ヒヤリハット報告を検証し事故原因及び対策の検証を行い、再発防止に繋がっています。②では、やむを得ないケースで行っている身体拘束に関して、入居者様の現状を踏まえて、本当に継続の必要があるのか？また、代替えの手段はないのか？可能な限りご入居者様の負担にならないように、拘束を行っていない時間が出来るだけ長くなるように

検証しています。③に関しては、ホーム内で発生した感染症（肺炎、尿路感染症も含む）の内容に関して、対策が必要な場合の確認を行い、必要な場合はホーム内での勉強会等を企画・実施しております。上記した3つのテーマそれぞれが、ご入居者様がホーム内で安心して過ごして頂くために重要な取り組みといえ、委員会からの情報を各職種で共有し、日々のケアに生かしております。